泌尿紀要 第13巻 第8号 昭和42年8月31日 発行（毎月1回 月末発行）昭和34年12月2日 第3種郵便物認可

KYOTO UNIV. LIBRARY
製本
BNC

Vol. 13, No. 8 Acta Urologica Japonica August, 1967

泌尿器科紀要

第 13 巻 第 8 号 昭和 42 年 8 月

随想 腎臓への随想……西丸 和義…575

水腎症の腎動脈造影……後藤 薫・篠田 孝・磯貝 和俊・大谷 文茂・小野 文瑛・劉 自覚…577

陰茎癌の2例と，わが教室における過去11年間の陰茎癌の統計的観察……重松 俊・鮫島 博・林田健一郎…581

尿管白板症の2例（尿管 cholesteatoma の1例）……高橋 陽一・中川 隆…590

S状結腸膀胱瘻の1例……酒徳治三郎・高橋 陽一・岡田謙一郎…597

弛緩性膀胱に対する Zoedler 手術の改良法について……酒徳治三郎・福山 拓夫…605

重複尿管を合併した小児尿管瘤の2例…石部 知行・白石 恒雄・数田 稔・福重 満…612

膀胱炎症例に対する Nitrofuran 系化学療法剤 P-6224（腸溶錠）と Bromelain の併用について……杉田 篤生・鈴木 騏一・加藤 正和・小野寺 豊・川村 俊三・小津 堅輔・菅原 奎二・石崎 充…621

上部尿路結石症に対する UROCALUN の臨床効果……後藤 薫・伊藤 鉦二・大谷 文茂・劉 自覚…628

排泄性腎盂造影法を中心とした造影剤 BC-80L 使用例の臨床的観察……加藤 篤二・沢西 謙次・岡田謙一郎…632

編集後記・購読要項・投稿内規……642

Renal Angiography in Hydronephrosis.……K. Gotoh, T. Shinoda, K. Isogai, F. Ohtani, Y. Ono and J. Riu…577

Cancer of the Penis : Report of 2 Cases and Statistical Studies of Cancer of the Penis Observed at our Clinic for the Past 11 Years.…… S. Shigematsu, H. Sameshima and K. Hayashida…581

Two Cases of Ureteral Leukoplakia.
—Including a Case of Ureteral Cholesteatoma—… Y. Takahashi and T. Nakagawa …590

Vesicosigmoid Fistula : A Case Report.……J. Sakatoku, Y. Takahashi and K. Okada…597

An Improved Procedure of Zoedler's Operation for Atonic Bladder.
……J. Sakatoku and T. Fukuyama…605

Ureterocele Associated with Double Ureter : Report of Two Cases of Children.
……T. Ishibe, T. Shiraishi, M. Kazuta and M. Fukushige…612

A Combination Treatment with P-6224—A Chemotherapeutic Agent of Nitrofuran Derivative—and Bromelain for Inflammation of the Urinary Bladder.
……A. Sugita, K. Suzuki, M. Kato, Y. Onodera, S. Kawamura, K. Ozu, K. Sugawara and M. Ishizaki…621

Clinical Effects of "Urocalun" for the Upper Urolithiasis.……K. Gotoh, S. Ito, F. Otani and J. Liu…628

Clinical Review in Usage of BC-80L Chiefly on Excretory Pyelography.
……T. Kato, K. Sawanishi and K. Okada…632

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine.
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tokuji KATO

編集後記

灼熱の太陽の下連日の炎暑は流石に耐え難い．殊に原爆記念日から立秋をへて終戦記念日を迎えても未だに秋の気配が窺われない．しかし僅か1カ月の日本の暑さは赤道下の東南アジアの暑さに比すると物の数でもない．

心頭を滅却すれば火も亦自ら涼しでやがて燈火親しむ候も近い筈である．兎もあれ読者の皆さんの御健康を切に望む次第である．

投稿の方はこれ亦夏枯れの状態で論文のストックが乏しい現況につき新進の方々の御寄稿を期待している．なお巻頭には生理学の西丸先生（日本脈管学会長）の興味ある腎生理研究の懐古談を戴いたので掲載した．御一読を乞う．

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とし，年間購読者を以て会員とする．
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する．1冊料金 150円．払込みは振替口座番号 京都4772番　泌尿器科紀要編集部，或は第一銀行百万遍支店宛．
3. 入会申込みは氏名（フリガナ），住所（雑誌郵送先），勤務先，職地位，自宅開業の別，送金方法を御記入の上編集部宛．

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説，原著，臨床報告，その他．寄稿者は会員に限る．
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする．
3. 原稿は横書さ，当用難字，平仮名，新仮名使いを用い，片仮名には括孤を要しない．400字詰原稿用紙を用いること．附表，附図はなるべく欧文にすること．
4. 文献の書式は次の如くする．著者名：誌名，巻数：頁数，年次．

例．1）中野：泌尿紀要，**1**：110，昭30．2）Lazarus, J. A. : J. Urol., **45** : 527, 1941.

5. 欧文抄録を記し，之には欧文の標題，所属機関名，ローマ字著者名を附け，なるべくタイプライターを用いること．希望の場合は当編集部にて飜訳す法．抄録用の原稿を送ること．飜訳の実費は申受ける．
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円，それ以上の頁，アート頁，図表，写真，欧文組版等は実費を申受ける．別冊20部を無料贈呈，それ以上は実費を徴収する．予め希望部数を申込むこと．特別掲載も考慮する．
7. 校正は初校のみ著者校正とし，再校以降は編集部が行う．
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院　京都大学病院　泌尿器科紀要編集部宛，書留便．

泌尿器科紀要　第13巻　第8号　　定価150円

昭和42年8月25日　印刷
昭和42年8月31日　発行

顧問　稲田　務
編集発行人　加藤篤二
発行所　泌尿器科紀要編集部
京都市左京区聖護院川原町53
京都大学医学部泌尿器科学教室内
電話 ㊐8111 学内5806
印刷所　山代印刷株式会社
京都市上京区寺之内通小川西入